

第二十七回本郷ふじやまやま公園古民家歴史部会歴史散策(藤澤・江ノ島道)

平成20年2月7日(木)江ノ電藤澤駅前10時00分集合同刻出発

当日6時25分のNHK天気予報降雨率50%以上の時は翌週14日(木)に順延します。

行程：江ノ電藤沢駅→電車移動→柳小路駅下車（藤沢駅から歩く事も有り）→1片瀬江ノ島道→2旧近藤邸→3庚申道標→4馬喰橋→5岩谷不動→6庚申供養塔・弁天道標→7泉蔵寺→8諏訪神社下社→9諏訪神社上社→10庚申塔→11密蔵寺→12江ノ島道標→13一遍上人地藏堂跡→14本蓮寺→15江ノ島道標（片瀬市民センター）→16西行もどり松→17寛文庚申塔→18常立寺→19龍口神社跡地→20龍口寺→21江ノ島弁財天。

一口メモ

「Ⅹ」片瀬旧道・江の島道・龍口寺・江ノ島

1・片瀬旧道・江の島道

江戸時代になると庶民の間にも弁天信仰が盛んとなり江戸から約3泊4日と手頃な距離にある「江ノ島」は、信仰、遊興地として大変な賑わいでした。江の島道と言うのは、藤沢から江ノ島へ至る道のことで、大山詣での人達が、その帰りに江の島弁財天に参拝する道でもありました。タイムスリップすると昔の人々のざわめきが聞こえてきそうな「古道」を潮の香を胸一杯に感じながら歩いて見ます。

2・旧近藤邸

大正14近藤賢二氏が別荘、昭和56年辻堂海岸から此处に移されました。設計をした遠藤新は、帝国ホテル旧館を手がけた人で、ライトに師事し、後に椅子と畳の生活を融合した設計をした人です。

3・庚申塔道標を兼ねたもの

「一切衆生（イサツジヨウ）、二世安楽（ニセイアンラク）」（生き物、人間、に現世及び来世の安楽を祈願）。

4・馬喰橋：（うまくらいばし）

別名馬鞍橋・馬殺橋と呼ばれ、昔、頼朝が橋のない川に馬の鞍を架けて渡ったと言う伝説から馬鞍橋、また、石を2～3枚渡した溝川があって、そこに来ると馬が嘶いて死んでしまうと言う伝説から馬殺橋と呼ばれたと言います。

5・岩谷不動（イワ・石籠イゴノ山不動尊）

やぐらの中に石造りの不動尊が安置され、その昔弘法大師が修行のため穴を掘り、穴居（ウツキヨ）修行したと言われます。しかし、正しくは江戸時代元禄8年(1695)に快祐上人（寛文3(1663)片瀬に生まれ、生きたまま岩屋に入って成仏82歳）が小堂を起し、稻荷大明神を勧請し、不動像を安置しました。

6・庚申供養塔・江ノ島弁天道標

（杉山検校が参拝者の道案内として江ノ島から半径4キロ以内の岐路に建立された様ですが建立年代不明。元48基あったと言われ、現在も12基あります（市指定文化財）。

7・泉蔵寺

眞言宗・通称やとの寺・相模国準四国八十八力所の内43番目の札所。嘉禄年間(1225~1227)北条義時の嫡男泰時の創建と言われ、弘法大師石像があります。

8・諏訪神社下社、

9・諏訪神社上社

祭神は健甕名方命(上社・タミナガノミ)・八坂刀売命(下社・ヤマトノミ)。養老7年(723)に、信州諏訪大社より他郷への最古の御分霊社として勧請されたと言います。本殿神座を二座に分け、下社は宮畑より鯨骨に、上社は諏訪ヶ谷より浪合に移されました。

10・庚申塔

享保4年銘(1719)。

11・密蔵寺(眞言宗・宝盛山薬師院・本尊、薬師如来愛染明王)

鎌倉時代創建、天保2年(1831)火災、一時無住、天保6年(1835)良忍が再興、相模国準四国八十八力所の内17番目札所。境内に大正7年頃から八十八体の弘法大師像を作り、新四国霊場を開創しようとしたが、震災時三十三体で中断しました。又、愛染明王を祀り「愛染かつら」の記念樹有り。

12・江ノ島道標

左鎌倉道・右江の島道。

13・一遍上人地藏堂跡

一遍踊り場跡・念仏堂跡。時宗の開祖一遍上人は鎌倉遊行を試みたが幕府に抑止され、片瀬で布教、安政5年3月~7月にかけて一遍上人が此处に滞在し、片瀬の地藏堂・館の御堂を中心として踊り念仏を唱えたと伝える。「帰依の道俗(ゾク)群をなし」「貴賤雨の如くに参拝し、道俗雲の如くに群集す」国宝「一遍聖絵」に見えます。

14・本蓮寺

推古3(595)聖徳太子の師によって開かれたと言う密教寺院でしたが、頼朝によって再建され14世紀初め日秀によって日蓮宗に改宗、慶安2(1649)江戸幕府から朱印寺認められた。

15・江ノ島道標

片瀬市民センター。江の島道・一切衆生・二世安楽。

16・西行もどり松(ねじれ松)

西行法師東国下り時・鎌倉へ向う時・都振返り・都恋しく松の枝を西にねじまげたと言う。

17・寛文庚申供養塔

寛文年間(1661~73)三猿像台座に乗った・市指定文化財。

18・常立寺（日蓮宗）

16世紀初め日豪創建・龍の口刑場跡・供養塔（誰姿森・タガタノモリ）・五輪塔5基（鎌倉幕府執権北条時宗の指示によって健治元(1275)打ち首になった「元」使者杜世忠等の5人を葬った塚とされています。又、新刑に処せられた人を埋葬し、塚を作り供養した処とも言われます。

19・龍口神社跡地

祭神、玉衣姫命。 龍口神社伝説：深沢の湖に5頭の悪魔が住んで村人を苦しめ、そこに欽明13年(552)海中から江ノ島がもり上がり、天から天女が舞い降り、五頭龍は天女（江ノ島明神）の靈感によって帰服したと言う。それ以来、村人の加護を誓った五頭龍はやがて山（龍口山）と化し龍口明神として祀られる様になったと言う。

20・龍口寺

日蓮宗随一霊場本山・淑光山・本尊、日蓮聖人奠定テンテイの大曼陀羅日蓮大菩薩蔵、日法作。延元2年(1337)日法上人が日蓮聖人の「4大法難」の内、最も有名な「龍の口法難」のあった龍ノ口刑場跡に一堂を建てたのが現龍口寺と伝えられます。龍口寺付近の片瀬8ヶ所寺院（本蓮寺・常立寺・東新寺・観行寺・本龍寺・妙興寺・本城寺・法源寺）が輪番制守務していたが、明治19年から貫主制度となりました。

21・江ノ島・江ノ島弁財天

日本三大弁天；竹生島、宮島、江ノ島。 ヨットハーバー・岩本院・杉山検校の墓・江島神社・裸弁財天・岩屋・八坂神社・サムエル・コッキング。

以 上

第二十七回行程案内図 月 日 ()

江ノ島旧道「藤沢駅～江ノ島」

